

【2023年卒 インターンシップ・就職活動準備に関する調査】 9月時点でインターンシップ参加割合は約7割。 オンラインでの参加が拡大

株式会社リクルート（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：北村 吉弘）の研究機関・就職みらい研究所（所長：増本 全）は、「2023年卒 インターンシップ・就職活動準備に関する調査」を実施しました。2021年9月時点の調査結果をまとめましたので、ご報告申し上げます。

従来対面での実施が多かったプログラムもWeb化。コロナ禍2年目の変化が見られる



所長 増本 全

今回の調査では、2023年卒の学生の「インターンシップの参加状況や満足度」について調査しました。9月時点でインターンシップに参加した学生は68.4%と前年と比べて21.6ポイント増加しました。またインターンシップの参加社数も平均5.30社と前年の4.03社と比べて約1社増加しています。インターンシップ参加者に、Web開催、対面開催のインターンシップ参加件数を聴取したところ、Web開催が平均4.58件(前年3.19件)、対面開催のものが平均0.72件(前年1.33件)で、前年同様Web開催のインターンシップが対面開催のインターンシップの参加件数を上回りました。コロナ禍におけるインターンシップの手法を企業が模索した結果、よりWeb化が加速したと考えられます。Web化による学生の満足度への影響はどうでしょうか。インターンシップに参加した学生の満足度は対面が90.0%、Webが88.1%と対面の方が高いものの、ほぼ同水準と言って差し支えないでしょう。インターンシップ内容別に参加形態を見ると「社員の補助的な業務の一部を経験する」「社員の基幹的な業務の一部を経験する」など前年では多くの学生が対面で参加していたプログラムが今年はWebでの参加が増えています。またWebで参加したプログラム別に満足度を見ても、「職場や工場の見学」「社員の補助的な業務の一部を経験する」などWeb実施が難しく思えるようなものでも前年と比べて高くなっています。インターンシップにおいても、よりWebの活用や工夫が進んでいる様子が見えそうです。

■活動実施の割合と参加割合（大学生・就職意向者 まだ志望進路を決めていない含む／単一回答）

	活動経験者		活動予定者	活動予定なし	合計
	インターンシップ・1day仕事体験参加あり	インターンシップ・1day仕事体験参加なし			
●凡例					
2023年卒	68.4		8.8	21.7	1.1
2022年卒	46.8		13.1	34.4	5.6

※2023年卒調査では「インターンシップ・1day仕事体験」について、
2022年卒調査では「インターンシップ（1日以内の仕事体験型プログラムを含む）」について聴取

本件に関する
お問い合わせ先

<https://www.recruit.co.jp/support/form/>

調査概要

■2023年卒 インターンシップ・就職活動準備に関する調査

調査目的：2023年卒学生のインターンシップ・就職活動準備の現状を把握する

調査方法：インターネット調査

調査対象：『リクナビ2023』（※）会員より、2023年3月卒業予定の大学生および大学院生

調査期間：2021年9月21日～27日

回答者数：大学生 2,150人 大学院生 503人

集計方法：大学生については、性別、専攻、所属大学の設置主体を基に、実際の母集団の構成比に近づけるよう、文部科学省「学校基本調査」の数値を参照し、ウェイトバック集計を行っている

※リクナビ：株式会社リクルートが運営している、就職活動を支援するサイト

<https://job.rikunabi.com/2023/>

◀ 調査結果を見る際の注意点 ▶

- ・ %を表示する際に小数点第2位で四捨五入しているため、%の合計が100%と一致しない場合がある
- ・ データは無回答サンプルを除いて集計している
- ・ 「前回差」「前年同月差」の単位は、「ポイント」
- ・ 2023年卒業を「2023年卒」と表記

◀ 調査の集計について ▶

- ・ 「2021年9月時点での進路の志望状況」で①～⑥のいずれかを選択した回答者を「就職意向者 まだ志望進路を決めていない含む」として集計する

■2021年9月時点での進路の志望状況（大学生／複数回答）

	n数	① まだ志望進路を決めていない	② 民間企業に就職したい	③ 公務員として就職したい	④ 教員として就職したい	⑤ 医師・ 歯科医師・ 看護師として 就職したい	⑥ 公務員・ 教員・医師・ 歯科医師・ 看護師以外 で民間企業で はない組織・ 団体に 就職したい	⑦ 起業したい	⑧ 大学院等へ 進学したい	⑨ 留学したい	⑩ 留年するので 卒業しない	⑪ その他
卒業後の志望進路	2,150	14.3%	75.1%	17.6%	2.8%	0.5%	4.4%	2.8%	8.7%	2.3%	0.2%	1.0%

インターンシップ・1day仕事体験への応募・参加割合

インターンシップ・1day仕事体験に参加した学生は全体の68.4%

インターンシップ・1day仕事体験に応募した学生は就職意向者(まだ志望進路を決めていない含む)全体のうち72.3%であった。またインターンシップ・1day仕事体験に参加した学生は就職意向者(まだ志望進路を決めていない含む)全体の68.4%であった。

■活動実施の割合とインターンシップ・1day仕事体験の応募割合
(大学生・就職意向者 まだ志望進路を決めていない含む/単一回答)

(%)

	活動経験者		活動予定者	活動予定なし
	インターンシップ・1day仕事体験 応募あり	インターンシップ・1day仕事体験 応募なし		
●凡例				
2023年卒	72.3		4.9	21.7
2022年卒	51.9		8.0	34.4

■活動実施の割合とインターンシップ・1day仕事体験の参加割合 (再掲)
(大学生・就職意向者 まだ志望進路を決めていない含む/単一回答)

(%)

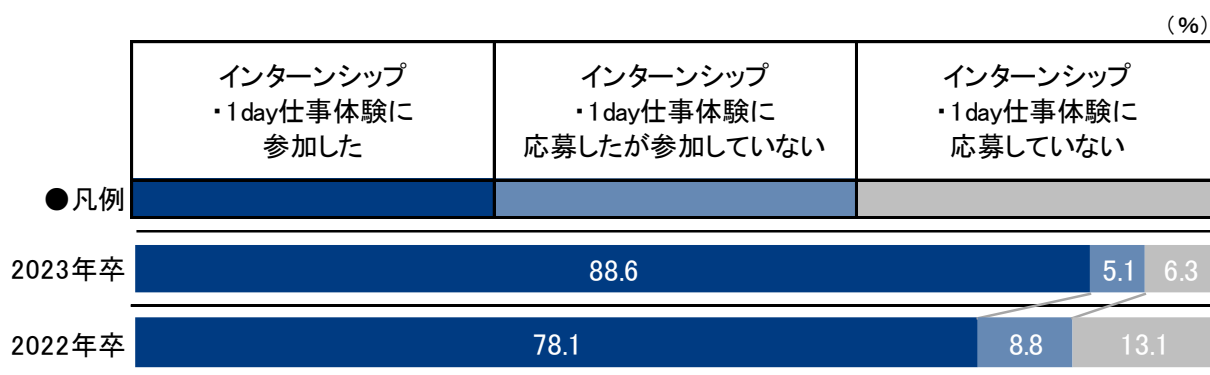
	活動経験者		活動予定者	活動予定なし
	インターンシップ・1day仕事体験 参加あり	インターンシップ・1day仕事体験 参加なし		
●凡例				
2023年卒	68.4		8.8	21.7
2022年卒	46.8		13.1	34.4

※2023年卒調査では「インターンシップ・1day仕事体験」について、
2022年卒調査では「インターンシップ(1日以内の仕事体験型プログラムを含む)」について聴取

活動経験者のうち、インターンシップ・1day仕事体験に参加した学生は88.6%

活動経験者のうち、1社以上のインターンシップ・1day仕事体験に参加した学生は88.6%であった。前年と比較すると、1社以上のインターンシップ・1day仕事体験に参加した学生の割合は、10ポイント程度増加し、活動を実施した学生の多くがインターンシップ・1day仕事体験に参加している様子がうかがえる。

■ インターンシップ・1day仕事体験の応募と参加の状況
 (大学生・就職意向者 まだ志望進路を決めていない含む・活動経験者/単一回答)



※2023年卒調査では「インターンシップ・1day仕事体験」について、
 2022年卒調査では「インターンシップ（1日以内の仕事体験型プログラムを含む）」について聴取

インターンシップ・1day仕事体験への応募・参加状況

インターンシップ・1day仕事体験への平均参加件数は、Webが4.58件、対面が0.72件

インターンシップ・1day仕事体験への平均参加社数は5.30社で前年に比べ増加した。形態別の参加件数を見ると、Webが4.58件、対面が0.72件であり、前年に比べるとWebは増加、対面は減少した。

■インターンシップ・1day仕事体験の応募社数・参加件数
(大学生・就職意向者 まだ志望進路を決めていない含む・活動経験者/数値回答)

▽2023年卒	n数	実施割合 (%)	平均数 (社)		
				Web(件)	対面(件)
インターンシップ・1day仕事体験応募 数	1,606	93.7	9.03	-	-
インターンシップ・1day仕事体験参加 数	1,606	88.6	5.30	4.58	0.72

▽2022年卒	n数	実施割合 (%)	平均数 (社)		
				Web(件)	対面(件)
インターンシップ・1day仕事体験応募 数	1,140	86.6	8.12	-	-
インターンシップ・1day仕事体験参加 数	1,140	78.1	4.03	3.19	1.33

■2023年卒 1day仕事体験、インターンシップ別の参加件数
(大学生・就職意向者 まだ志望進路を決めていない含む・活動経験者/数値回答)

▽2023年卒 1day仕事体験・インターンシップ別	n数	実施割合 (%)	平均数 (社)		
				Web(件)	対面(件)
1day仕事体験参加 数	1,606	71.5	-	4.23	0.73
インターンシップ参加 数	1,606	72.2	-	3.71	0.78

※2023年卒調査では「インターンシップ・1day仕事体験」について、
2022年卒調査では「インターンシップ (1日以内の仕事体験型プログラムを含む)」について聴取

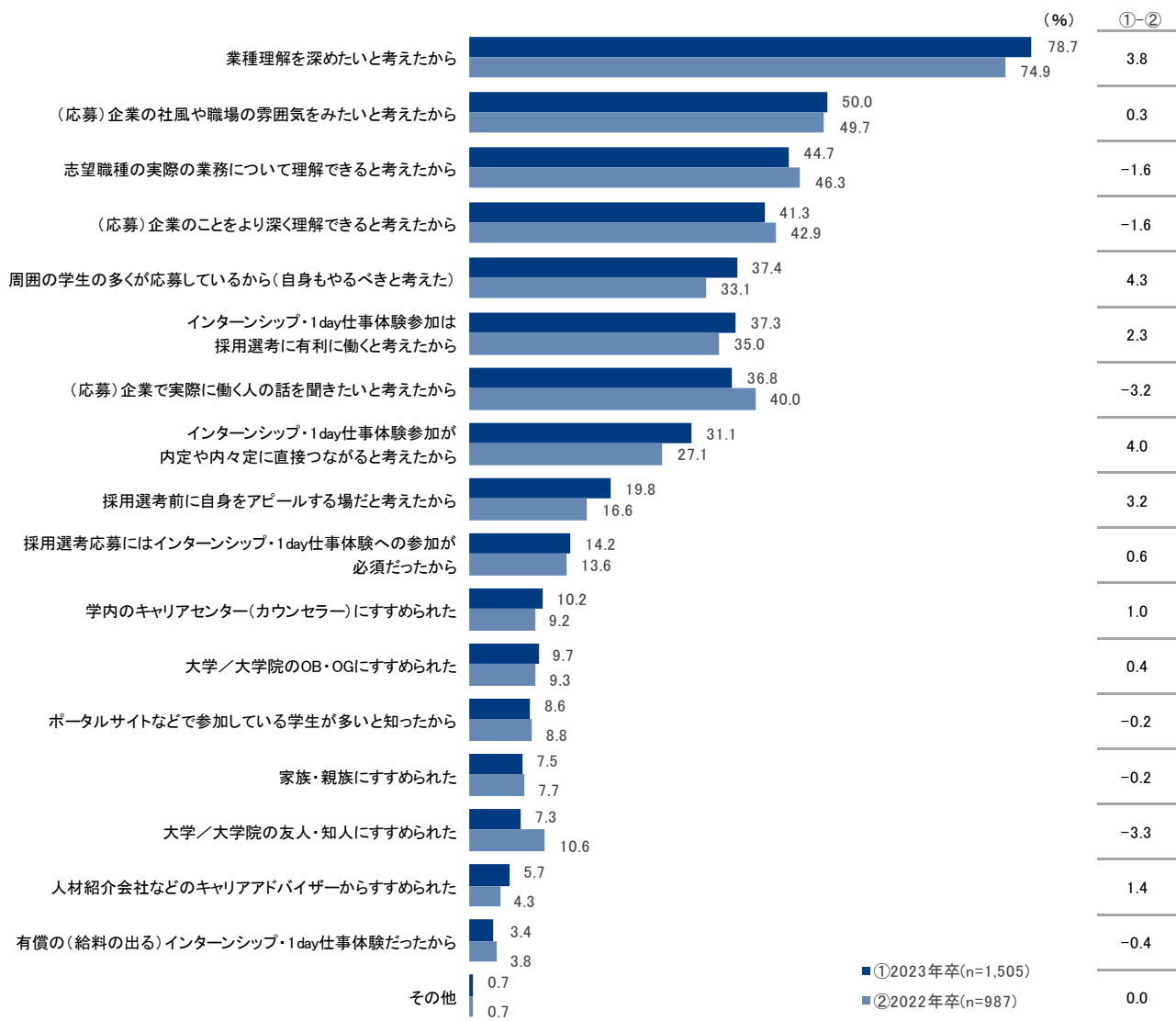
インターンシップ・1day仕事体験に応募したきっかけ

インターンシップ・1day仕事体験に応募したきっかけは「業種理解を深めたいと考えたから」が最多

インターンシップに応募したきっかけを聴取すると、高いものから順に「業種理解を深めたいと考えたから」、「(応募)企業の社風や職場の雰囲気を見たいと考えたから」、「(応募)企業のことをより深く理解できると考えたから」と続いた。どの項目も前年と同水準であった。

■インターンシップ・1day仕事体験に応募したきっかけ

(大学生・就職意向者 まだ志望進路を決めていない含む・インターンシップ・1day仕事体験応募者/複数回答)



※2023年卒調査では「インターンシップ・1day仕事体験」について、

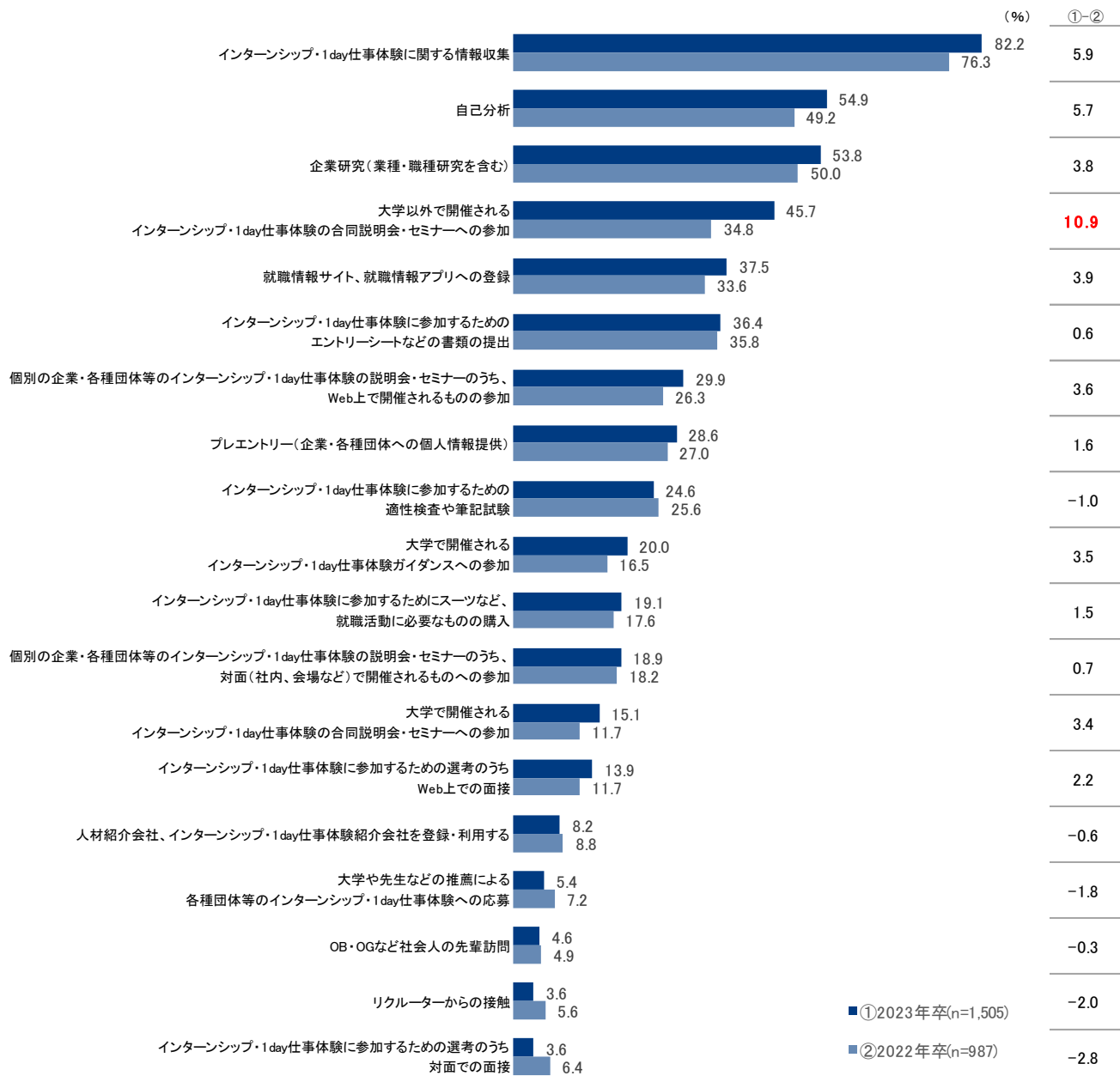
2022年卒調査では「インターンシップ(1日以内の仕事体験型プログラムを含む)」について聴取

インターンシップ・1day仕事体験参加のための準備は、「情報収集」が最多

インターンシップ・1day仕事体験参加のために準備したことを聴取すると、高いものから順に「インターンシップ・1day仕事体験に関する情報収集」、「自己分析」、「企業研究（業種・職種研究を含む）」であった。前年に比べて割合が10ポイント以上増えたのは「大学以外で開催されるインターンシップ・1day仕事体験の合同説明会・セミナーへの参加」だった。

■インターンシップ・1day仕事体験参加のための準備

(大学生・就職意向者 まだ志望進路を決めていない含む・インターンシップ・1day仕事体験応募者/複数回答)



* 「その他」 「あてはまるものはない」を除く * 10ポイント以上の差を赤字で表記

※2023年卒調査では「インターンシップ・1day仕事体験」について、
2022年卒調査では「インターンシップ（1日以内の仕事体験型プログラムを含む）」について聴取

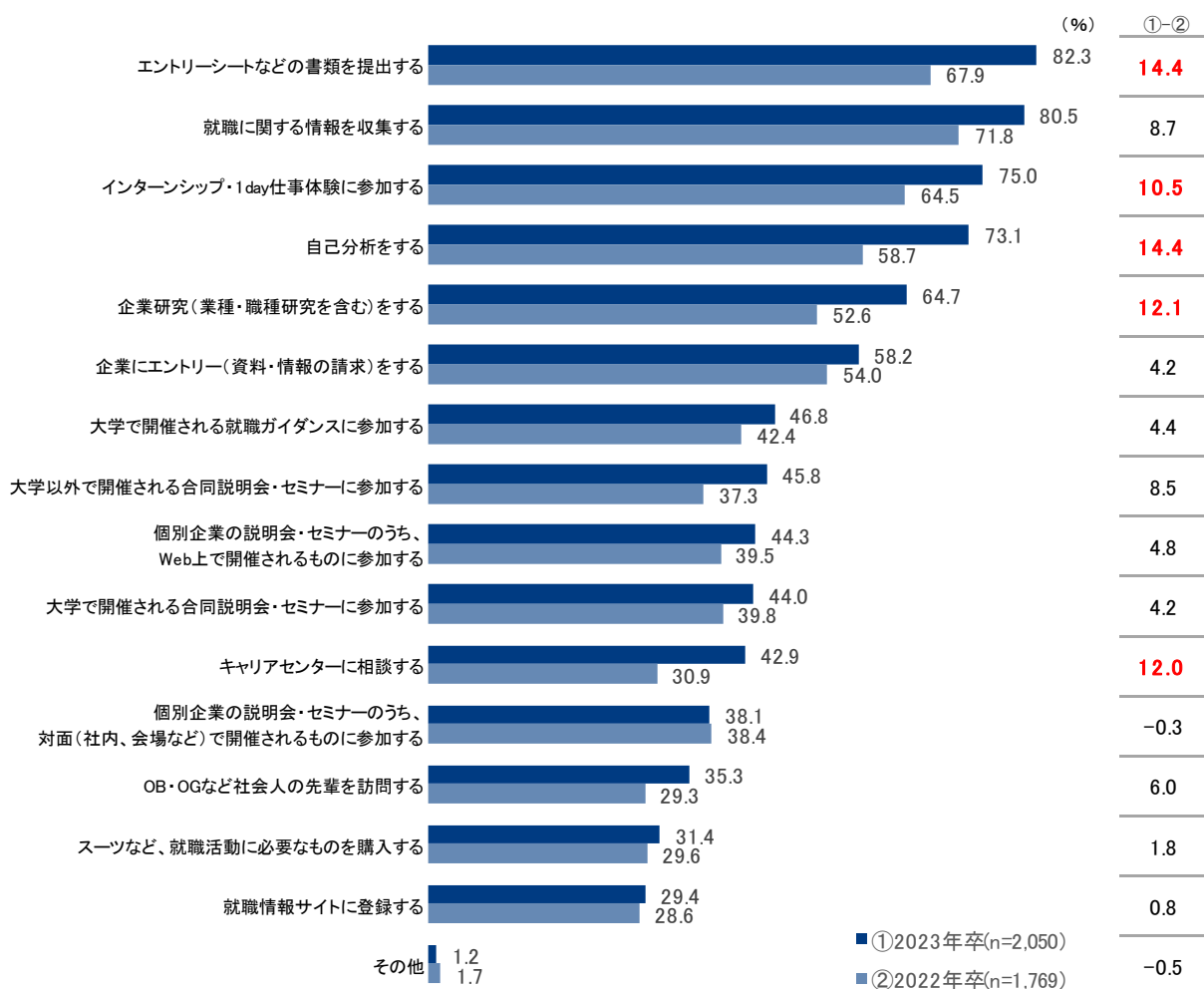
これから実施を予定している取り組み

これから実施を予定している取り組みは「エントリーシートなどの書類を提出する」が最多

これから実施を予定している取り組みを聴取すると、高いものから順に「エントリーシートなどの書類を提出する」、「就職に関する情報を収集する」、「インターンシップ・1day仕事体験に参加する」であった。また、前年に比べ当該取り組みを予定している学生の割合が、10ポイント以上増えた項目が複数見られた。

■これから実施を予定している取り組み

(大学生・就職意向者 まだ志望進路を決めていない含む・活動実施者または活動予定者／複数回答)



* 「この時期での実施は想定していない」を除く

* 10ポイント以上の差を赤字で表記

※2023年卒調査では「インターンシップ・1day仕事体験」について、
2022年卒調査では「インターンシップ(1日以内の仕事体験型プログラムを含む)」について聴取

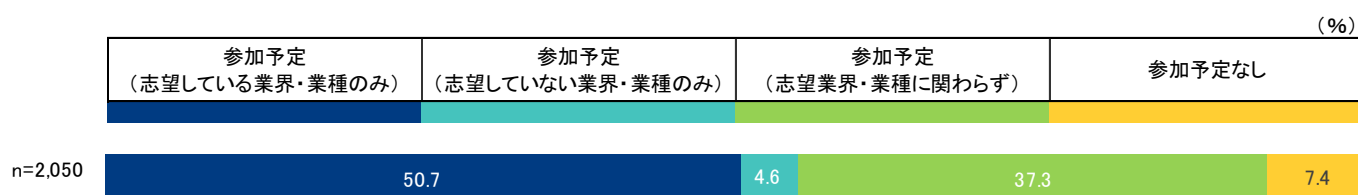
インターンシップ・1day仕事体験に対する今後の参加意向

9割以上の学生が、今後インターンシップ・1day仕事体験への参加を予定

インターンシップ・1day仕事体験に対する今後の参加意向に関しては、9割以上の学生が参加を予定していると回答した。

■2023年卒）インターンシップ・1day仕事体験に対する今後の参加意向

(大学生・就職意向者 まだ志望進路を決めていない含む・活動実施者または活動予定者／単一回答)



※「志望業界・業種に関わらず」には、「志望している／していない業界・業種のインターンシップ・1day仕事体験」どちらにも参加を予定している、「参加するインターンシップ・1day仕事体験の業界・業種は特に決めていないが、参加する予定である」を含む

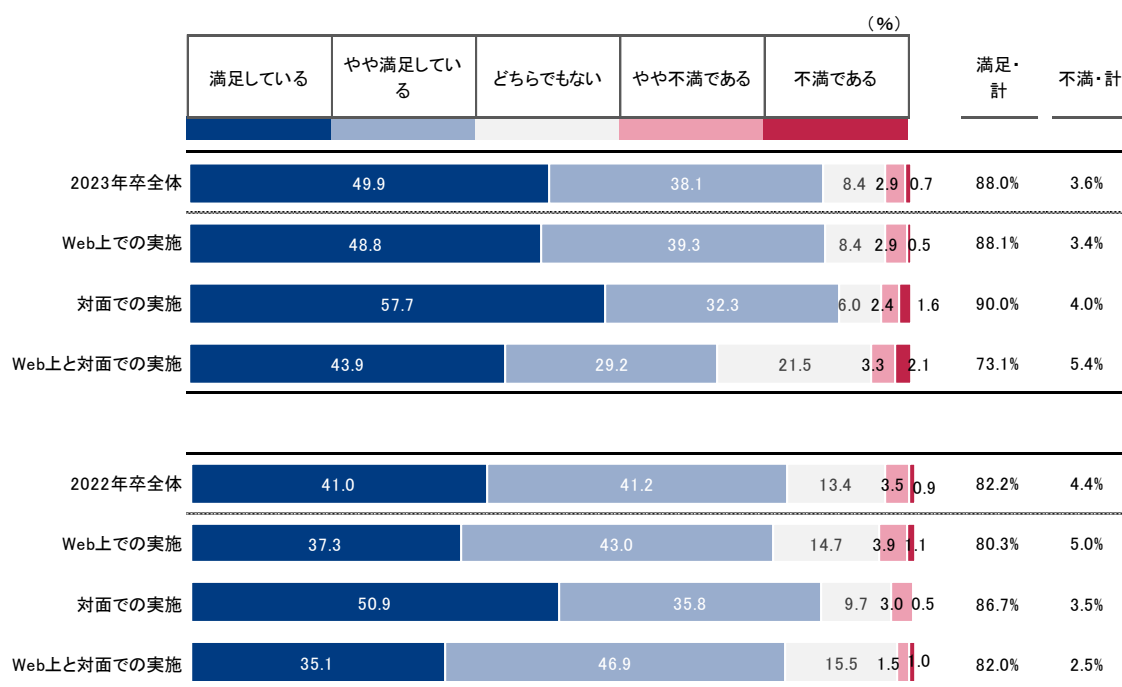
インターンシップ・1day仕事体験の実施形態別満足度

Web、対面どちらの実施形態も、前年に比べ満足・計が上昇

インターンシップ・1day仕事体験の参加後の満足度について、「満足している」「やや満足している」と回答した割合は全体で88.0%、実施形態別ではWeb上での実施が88.1%、対面での実施が90.0%とWeb、対面ともに前年を上回った。

■インターンシップ・1day仕事体験実施形態別満足度

(大学生・就職意向者 まだ志望進路を決めていない含む・インターンシップ・1day仕事体験経験者／複数回答・インターンシップ・1day仕事体験参加企業最大5社分についてそれぞれ聴取し合計)



※n数：(2023年卒) Web上での実施：4,194、対面での実施：646、Webと対面での実施：119
(2022年卒) Web上での実施：1,746、対面での実施：753、Webと対面での実施：157

※2023年卒調査では「インターンシップ・1day仕事体験」について、
2022年卒調査では「インターンシップ（1日以内の仕事体験型プログラムを含む）」について聴取

インターンシップ・1day仕事体験のプログラム内容別参加形態

Webで参加したプログラムは「新規事業についてワークやディスカッションなどをする」が最多

Webで参加したインターンシップ・1day仕事体験のプログラム内容別に実施形態を聴取すると、Webでは「新規事業についてワークやディスカッションなどをする」、「業種や企業の説明を受ける」、「直接社員に質問できる質問会など」の順に高かった。

■2023年卒）インターンシップ・1day仕事体験のプログラム内容別参加形態

（大学生・インターンシップ・1day仕事体験経験者／複数回答・インターンシップ・1day仕事体験の参加企業について最大5社分をそれぞれ聴取し合計）

	Web上での参加		対面での参加		Web上と対面での参加		その他	
	(%)	前年差	(%)	前年差	(%)	前年差	(%)	前年差
全体	84.6	19.2	13.0	-15.3	2.4	-3.9	0.1	0.1
新規事業について ワークやディスカッションなどをする	86.6	21.9	11.5	-14.7	1.8	-7.3	0.1	0.1
業種や企業の説明を受ける	85.6	16.3	12.6	-13.3	1.7	-3.0	0.1	0.0
直接社員に質問できる質問会など	85.3	18.3	12.8	-14.5	1.9	-3.8	—	—
社会的な課題やテーマについて ワークやディスカッションなどをする	85.3	23.8	11.8	-17.7	2.9	-6.1	—	—
自己分析をする	84.2	26.8	12.4	-18.1	3.4	-8.7	—	—
就職活動の仕方やノウハウを学ぶ	83.8	25.2	13.2	-18.5	3.0	-6.7	—	—
社員の基幹的な業務の一部を経験する	80.2	27.4	16.9	-18.3	2.7	-9.2	0.2	0.2
社員の補助的な業務の一部を経験する	68.3	31.7	28.5	-13.4	3.2	-18.3	—	—
アルバイトやパートタイマーが行う 業務の一部を経験する	59.6	31.2	31.2	-11.7	9.1	-19.6	—	—
仕事をしている社員に同席あるいは同行する	56.0	21.3	38.6	-9.5	5.4	-11.8	—	—
職場や工場の見学	54.1	22.8	41.6	-13.2	4.3	-9.5	—	—
その他	80.2	19.6	13.6	-23.8	2.4	2.4	3.8	1.8

*0.1%未満は非表示

※2023年卒調査では「インターンシップ・1day仕事体験」について、
2022年卒調査では「インターンシップ（1日以内の仕事体験型プログラムを含む）」について聴取

前年に比べるとWeb開催プログラムで全体的に満足度が増加

参加したインターンシップ・1day仕事体験プログラム内容別に満足度を聴取すると、「満足している」の回答割合は、対面では「社員の基幹的な業務の一部を経験する」が高く、Web開催では「社員の補助的な業務の一部を経験する」が高かった。前年に比べるとWeb開催プログラムで全体的に満足度が高くなっている様子がうかがえる。

■対面・Web開催インターンシップ・1day仕事体験の内容別満足度「満足している」回答割合
 (大学生・就職意向者 まだ志望進路を決めていない含む・インターンシップ・1day仕事体験経験者/複数回答・インターンシップ・1day仕事体験の参加企業について最大5社分をそれぞれ聴取し合計)

プログラム内容	2023年卒				2022年卒	
	対面		Web		対面	Web
	(%)	前年差	(%)	前年差	(%)	(%)
社員の基幹的な業務の一部を経験する	67.9	5.2	56.4	7.3	62.7	49.1
職場や工場の見学	67.0	4.1	50.8	13.4	62.9	37.4
仕事をしている社員に同席あるいは同行する	66.5	6.9	52.5	12.1	59.6	40.4
直接社員に質問できる質問会など	64.5	6.4	51.8	9.7	58.1	42.1
業種や企業の説明を受ける	62.2	6.9	49.4	11.1	55.3	38.3
社員の補助的な業務の一部を経験する	62.0	17.0	57.2	16.8	45.0	40.4
新規事業についてワークやディスカッションなどをする	62.0	3.2	55.9	10.0	58.8	45.9
社会的な課題やテーマについてワークやディスカッションなどをする	61.0	-2.4	55.9	9.2	63.4	46.7
就職活動の仕方やノウハウを学ぶ	60.5	0.7	51.1	10.8	59.8	40.3
自己分析をする	53.5	-1.6	50.9	10.7	55.1	40.2
アルバイトやパートタイマーが行う業務の一部を経験する	52.3	-10.9	44.5	22.2	63.2	22.3
その他	63.9	-4.4	57.0	8.1	68.3	48.9

※2023年卒調査では「インターンシップ・1day仕事体験」について、
 2022年卒調査では「インターンシップ（1日以内の仕事体験型プログラムを含む）」について聴取

インターンシップに対して不安に感じるのは、「選考につながるのか不明確な点」など

インターンシップ参加者に、インターンシップに対して不安に感じることを聴取すると、「本選考の評価に使用されるか明らかにされていない」「早期選考に繋がるのかわからない」という選考につながるのか不明確な点があがった。また、「参加しただけで印象が左右されるため、参加が不安である」というように、参加を躊躇（ちゅうちょ）する声も聞かれた。

■インターンシップ・1day仕事体験プログラムに対する不安 (大学生/自由回答)

コメント	文理・性別	Web 参加件数	対面 参加件数
対面でのインターンに参加できていないため、実際に現場の雰囲気や仕事をリアルでできていないことが不安。	文系女性	8	0
「選考には関係ない」と明記されているものの、実は参加学生を評価しているのではないかと不安になる。	理系男性	1	0
インターンシップで得た情報は企業の良い面しか知れていないため入社後にギャップを感じるかもしれないという不安がある。	文系女性	5	0
言葉遣いや服装などのマナーについて 参加後の振り返りの方法について。	文系女性	11	3
インターンシップにおける行動が本採用の評価に使用されるか明らかにされていない企業があると感じ、不安を感じる。	理系男性	2	1
周りがどのくらい参加しているのか分からず、自分が置いていかれているような不安を感じている。	文系女性	3	0
対面でのインターンシップの実施が少なく、職場の雰囲気がわからないこと。対面での実施が今後増えるかどうか気になっている。	理系女性	1	0
インターンシップがオンラインであったり、中止になったりしたこと、採用に不利にならないか不安です。	理系女性	5	1
説明会形式のものが多く、あまり情報を得られていないように感じる。	文系女性	5	0
早期選考に繋がるのか、どこを見られているのかわからない。	文系女性	3	1
参加しただけで印象が左右されるため、企業情報を豊富に仕入れる余裕があるときでないとな参加が不安である。	文系女性	0	0
まだ自分のやりたいことがわかっていないので、周りとの意識の差を感じて躊躇してしまう。	理系女性	0	0

* 参加件数はインターンシップ・1day仕事体験プログラムのうちWeb・対面それぞれについて

※2023年卒調査では「インターンシップ・1day仕事体験」について、
2022年卒調査では「インターンシップ（1日以内の仕事体験型プログラムを含む）」について聴取

Web上での開催にメリットを感じている声も聞かれた

インターンシップに実際に参加してみて感じたことや今後取り組みたいことを聴取すると、Web上での実施に対して限界を指摘する感想の一方で、「開催地を気にせず参加できる」「比較的取り組みやすい」「オンラインでも会社によって雰囲気異なる」といった声があった。また、「対面での参加もこれから行いたい」「実際に社員の方と1対1で話したい」というように今後の取り組みに対して、前向きな声も聞かれた。

■インターンシップ・1day仕事体験のプログラムに対する考え・感想 (大学生・インターンシップ・1day仕事体験プログラム参加者/自由回答)

コメント	文理・性別	Web参加件数	対面参加件数
Web開催だからこそ開催地を気にせず参加できた。	文系女性	4	0
福利厚生や給料、年収などお金に関することで具体的な数字を見ることができたのが、企業を知るにあたり現実味がまし、モチベーション向上に繋がったので良かったです。	文系男性	1	0
1 DAYでWeb上で行われる場合は比較的取り組みやすいため、一度体験してみると良いと思った。	理系女性	2	1
オンラインで実際の仕事を体験できたことが嬉しく、より企業の仕事内容が明確になり、企業理解に繋がった。	理系女性	5	1
インターンに参加してその会社が自分に合っているのか考えることができた。対面での参加もこれから行いたい。	理系女性	2	0
オンラインであっても、会社ごとに雰囲気が違うことを実感した。	文系女性	6	0
Web上は移動時間、費用はかからないが、実際に社員の方と1対1で話したいと思いました。	文系女性	4	2
短時間のものが多いためやりがいをあまり感じられないことが多かった。オンライン上だったために距離感を感じてしまった。	文系女性	3	0
対面でないと社風の部分が分かりにくく感じた。	理系男性	10	0
オンラインだと同じ参加者とワークをする際、打ち解けにくく、活発に議論しにくい。	文系女性	5	1
対面だと周りの就活生と仲良くなることができ、対面の方がメリットがあるように感じた。	理系男性	0	2
一方的に受けるインターンシップでは満足度は低かったが、やはり、対面でのインターンシップの方が、わかりやすく、志望度も高くなった。	理系女性	5	2
対面の方が、社員さんたちとの距離が近く、普段聞けないようなことも正直に話してくださった印象があった。	文系男性	2	1

*参加件数はインターンシップ・1day仕事体験プログラムのうちWeb・対面それぞれについて

※2023年卒調査では「インターンシップ・1day仕事体験」について、

2022年卒調査では「インターンシップ（1日以内の仕事体験型プログラムを含む）」について聴取